

世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

🇸🇩 スーダン共和国 🇸🇩



【表紙の写真】

(右上) ハブーブ (砂嵐)

強烈な砂嵐の時は目を開けることも困難になり、200メートルぐらい先も見えなくなるそうです。

 霜田治喜 (ロシナンテス)

(左下) 道端のお茶屋さん

女性が営んでいます。木陰でシャイ(紅茶)を飲みながらおしゃべりを楽しむ男性がいつもたくさんいます。

 鳴海ゆきの

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜスーダン共和国?

第1章 スーダンってどんな国?

=ナイル川が流れる、アフリカ大陸最大の国=

- 05 スーダンのウソ・ホントクイズ!
- 07 スーダンのいろは
- 11 ちょっとブレイク
～スーダンに伝わるお話～

第2章 へえ～! スーダンと日本

- 13 比べてみよう! スーダンと日本
- 15 スーダンを味わおう。
- 17 ちょっとブレイク
～スーダン人のいい話・日本人のいい話～

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

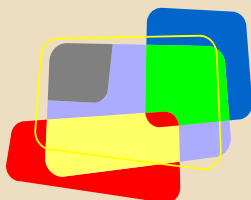
- 19 「難民」ってなに?
- 25 もしも難民として逃げるとしたら…
- 27 難民を受け入れる立場から
- 29 「スーダンってこんな国」ふりかえりシート

第4章 そして未来へ

- 31 世界を変えるスピーチ
- 33 この星をこれ以上こわし続けないで
～12歳の少女が地球サミットで語った伝説のスピーチ～

★参考資料★

- 37 目で見るスーダン
- 39 スーダン地図
- 41 参考文献・データ等の出典
- 41 ご協力いただいた方たち
- 41 2009年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい/つなげていきたい/
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。『国際交流』は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

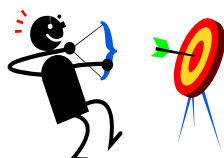
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ〜。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学生高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、スーダンのほんの一面です。本書だけでスーダンのすべてがわかるわけではありません。スーダンに親しみを感じ、関心をもってもらおうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせてどんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムでマジックを使います。



プログラムのねらいです。



プログラムで付箋を使います。



ちょっとブレイク！一口コラムです。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



データ等の出典です。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



写真の撮影者です。



なぜスーダン共和国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

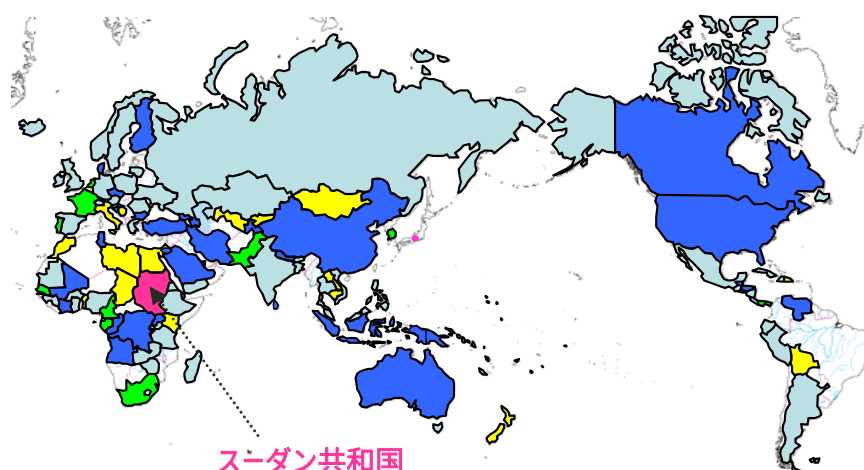
2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、スーダン共和国のホームシティは、春日井市でした。



愛知万博／アフリカ共同館



スーダン共和国

- 本教材
- 2009年度教材作成予定の国
- 2008年度教材作成の国
- 2007年度教材作成の国
- 愛知万博公式参加国

2009年度作成 予定 (33カ国)	アゼルバイジャン共和国 アメリカ合衆国 アンゴラ共和国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和国 ウガンダ共和国 オーストラリア連邦 カナダ グルジア コートジボワール共和国 コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和国 デンマーク王国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2008年度作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニューゼーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和国 ベルギー王国 ボリビア共和国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2007年度作成 (10カ国)	オランダ王国 ガボン共和国 カメルーン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国

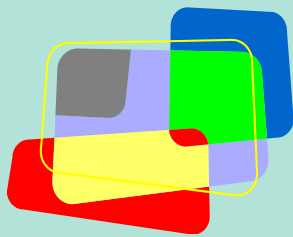


第1章

スーダンってどんな国？

＝ナイル川が流れる、

アフリカ大陸最大の国＝



スーダンのウソ・ホントクイズ！

① ところで、みなさんはスーダンのこと、どのくらい知っていますか？



① 国名である「スーダン」は、「黒い人」という意味の言葉が語源です。



② 多くの国と国境を接している国スーダン。国境を接している国の数は、全部で5カ国あります。



③ 1954年に独立が成立したスーダン。独立前は同時期に2つの国に支配されていました。



④ スーダンの国旗は赤・白・黒と緑の三角形でできています。緑の三角は熱帯雨林を表しています。



⑤ スーダンに流れるナイル川の支流は2つあり、それぞれ白ナイル・黒ナイルと呼ばれています。



⑥ エジプトのものが有名なピラミッドですが、実はスーダンにはエジプトよりもたくさんさんのピラミッドがあります。



⑦ 2011年に、南部スーダンの独立を問う住民投票が行われますが、賛成が多数であれば、共和国初の独立国が誕生します。



⑧ スーダンは人口の75%が農業に従事する農業大国です。スーダンには、まだ耕作可能な土地が、現在耕作されている土地の3倍もあります。



⑨ スーダン東部は農業が盛んで、「アフリカのパン簞(かご)」と呼ばれています。

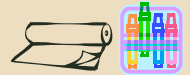




- 1 **○**
ホント 「スーダン」はアラビア語で「黒い人」を意味する言葉を原義とし、元来は北アフリカのアラブ人たちからみて南に住む黒人の居住地域を指す地域名称でした。国名としてのスーダンと区別するために歴史的スーダンともいわれています。スーダンは、歴史的スーダンの東部を占め、歴史的には東スーダンと呼ばれた地域にあたります。
- 2 **×**
ウソ スーダンは9つの国と国境を接しており、東は紅海に面しています。9つの国とは、エジプト、リビア、チャド、中央アフリカ共和国、コンゴ民主共和国、ウガンダ、ケニア、エチオピア、エリトリアです。
- 3 **○**
ホント エジプトとイギリスの両国による共同統治下に置かれていました。ただし、エジプト自体がイギリスの保護国となっていたことから、実質上はイギリスによる支配であったといえます。1924年以降は南北を分けて統治する「分断統治システム」が採られました。これにより南北間の行き来をなくし、対立関係を作っておくことで、イギリスへの不満を逸らしました。これが独立後の南北内戦に発展したのです。
- 4 **×**
ウソ 緑の三角の部分は、「イスラムの繁栄と幸福」を表しています。赤・白・黒は「アラブ統一の色」とされており、それぞれ赤は革命によって流された尊い血の犠牲を、白は平和と未来への希望を、黒はブラックアフリカを表しています。
- 5 **×**
ウソ 一つは赤道直下のビクトリア湖から流れ込んでくる白ナイル、もう一つはエチオピアのタナ湖から流れ下ってくる青ナイルです。白と青という名前は、白ナイルが灰色に濁っているのに対して、青ナイルは一年の大半において、白ナイルよりも水が透明に見えることに由来します。両ナイルはスーダンの首都ハルツームで合流し、大河となってエジプト国境へと流れていきます。
- 6 **○**
ホント スーダンは過去に栄光の歴史をもつ国でもあります。紀元前2000年代にはスーダン帝国が隆盛繁栄し、高い文明をもっていたことを現存する多くの遺跡の考古学的研究が実証しており、ピラミッドの数は世界最多で1000近くあります。ただし、観光地として整備されておらず、観光産業と呼べるまでには育っていないようです。
- 7 **○**
ホント 2011年の住民投票で過半数が独立に賛成すると、南部スーダンが独立国として誕生します。一部世論調査では、「南部の人の90%以上は独立に投票!」と報道されているようですが、どうなるのでしょうか???
- 8 **×**
ウソ 答えは7倍です。国民総生産の4割を農業生産が占める大農業国スーダンですが、それを可能にしているのは、広大な土地、一帯の地形、地味、灌漑、水利、気象など、農業の最適条件が整っているからです。スーダンの可耕地は2億5000万エーカー(国土面積の3分の1)ありますが、現在耕作されているのは、わずか3100万エーカーにすぎず、将来の農業開発には大きな可能性を秘めています。
- 9 **○**
ホント スーダン東部は、「アフリカのパン簞」とも言われる肥沃なナイル川周辺の農地を使っての小麦、トウモロコシの栽培が盛んです。最近ではトルコやサウジアラビアなどの周辺諸国の企業による農業投資が盛んになってきています。特に湾岸アラブ諸国は、国土の大半が農業に不向きな砂漠のため食料供給地としてのスーダンに着目しているようです。

スーダンのいろは

- ① スーダンについて書かれた文章や写真から、スーダンとはどのような国なのか、現地の人々がどのような生活をしているのかを想像してみましょう。



- ① みなさんはスーダン共和国という国を知っていますか？
まずは、スーダン共和国について書かれた次の文章を読んでみてください。



スーダンはアフリカ北東部に位置する、アフリカ大陸で一番広い国です。1956年イギリスとエジプトから独立しました。面積は日本の約7倍もあり、9つの国と国境を接しています。

国土の大部分は広大な平原で、ほぼ中央をナイル川とその支流が縦に流れています。北部はヌビア砂漠、中部は砂丘地帯、南部は沼沢地帯となっています。北部は砂漠性の乾燥気候、南部は多湿な熱帯気候です。北部の砂漠と紅海沿岸は一年中、日中の気温が38℃を超す炎熱の地です。

人口は約3,856万人（2007年）。アラブ人、ヌビア人、ヌバ人、フル人、ベジャ人、ディンカ人、ヌエル人、ザンデ人、トポサ人などたくさんの民族が住んでいます。70%がイスラム教徒です。

主な産業は原油、農業、林業、畜産業、漁業です。特に南部地域では石油が、中国や日本を中心に輸出されています。

また、2003年ころから内戦が激しくなっており、住居を追われた多くの難民や国内避難民がいます。

（難民：50万人以上、国内避難民：120万人以上）
（2007年12月31日現在 UNHCR調査による）



- ② これらの情報から、スーダンはどんな国だと想像しますか？
スーダンの人々はどのような生活をしているのでしょうか？
グループになって「スーダンの人の生活」を描いてみましょう。
- ③ では、次の写真（P9～10）を見てください。これらはすべてスーダンの写真です。それぞれの写真が何を表しているのかを考え、グループに分けてみましょう。グループ分けができたなら、グループごとに名前をつけてみましょう。
- ④ みなさんが想像していたスーダンのイメージと写真を比べてみましょう。資料を読んだ時の印象と、写真を見た時の印象では、どのような違いがありましたか？感想をグループで話し合ってみましょう。



A

オムドルマン市街地です。中央の建物はニレーンモスクです。モスクとはイスラム教の礼拝堂のことです。

B **G** **K**

国内避難民キャンプの様子です。国内避難民は難民と区別され、自国内で避難生活を送り国境を越えていない人々のことを指します。キャンプには学校もありますが、新たな流入により収容人口の増加に教員数が追いつかず全員を受け入れられない状態となっています。紛争の影響で校舎に改修の必要があり、また校舎そのものが足りていません。

C

首都のハルツームで合流する青ナイル(左奥)と白ナイル(右奥)です。

D

世界遺産に登録されているジャベルバルカルとその近郊の遺跡群(ピラミッド、寺院、住居、宮殿)とメロエ王国のピラミッドです。

E

スーダンの最高学府であるハルツーム大学です。

F

スーダン女性の民族衣装姿です。イスラム教徒の女性はトーベと呼ばれる、長さが約9mの半透明の布を身に着けています。トーベは普通ガウンの上にはおり、頭と上半身に巻きつけます。

H

南部スーダン政府により、新たに導入された車のナンバー・プレートです。NSIは"New Sudan(新生スーダン)"の略。左は南部スーダン政府の旗だそうです。

I

南部スーダンの熱帯雨林と湿原が広がるサッド(大湿地帯)です。

J **N**

Nはジャンジャウィードの兵士です。「ジャンジャウィード」はスーダン西部ダルフル地方のアラブ人の主にバツガー族からなる民兵組織で、「馬に乗り武装した男」という意味の現地語です。2003年以降のダルフル紛争の主要な当事者であり、アラブ人が支配するスーダン政府の支援を受けて非アラブ人国民に対して民族浄化を行います。彼等によって殺害されたのは、2003年以降で1万人とも3万人とも言われています。Jは攻撃で破壊された村の保健所です。

L **P**

Lは水を汲みに行く子どもで、Pが水を汲む女性たちです。スーダンでは、多くの人々にとってきれいな水へのアクセスが難しいために、急性下痢、コレラ、マラリア、肝炎、といった病気が多く、乳幼児の約17%が主にこのような病気が原因で亡くなっています。誰にとっても水は重要なものですが、このスーダン・ダルフルではまさに水は命そのものです。

M

オムドルマンのラクダ市です。ラクダ市では、犠牲祭の前になると大量のラクダが売られます。ほとんどのラクダが東・西部スーダンから集まってきます。

O

ジュバの街中です。車や人が行き交い、露天商が立ち並んでいます。

A



B



C



D



E



F



G



H



I



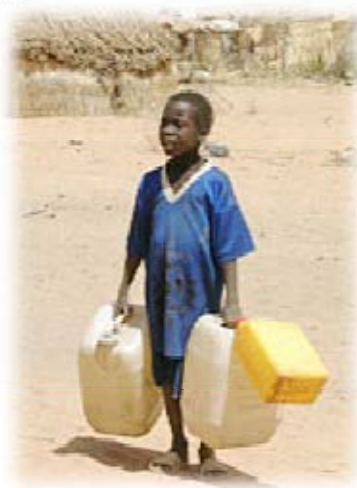
J



K



L



M



N



O

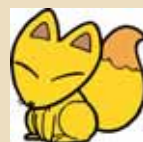


P





ちょっとブレイク スーダンに伝わるお話



子ギツネのライオン退治

■平和な森のピンチ！

むかしむかしある森に、たくさんの動物たちが住んでいました。大きな動物も小さな動物も、みんなそれぞれ自分にあった暮らし方をして、平和に住んでいました。ところがある日、その森に一匹のライオンがやってきたのです。ライオンは手当たり次第に獲物をつかまえては、情け容赦なく食べてしまいます。動物たちは困りきっていろいろと相談しました。

相談がまとまると、みんなでそろってライオンのところへ行きました。ライオンは木のかげに寝そべって、昼寝をしていました。まずは、山イヌが前に進み出て言いました。「ライオン様。あなた様がこの森においてになりましてから、わたくしどもは、一日も落ち着いてられません。いつあなた様に食べられるかわからないのですから。いっそのこと、みんなでそろって逃げ出そうかなどと考えてもみましたが、それはあなた様がお困りでしょう。そこで、いかがでしょう。わたくしどもが毎日クジをひいて、クジに当たったものがあなた様のお食事になる、ということにしては。その代わり、他のものは自由に森を駆け回らせていただきたいのでございます。」ライオンは、ちょっと考えこみましたが、「いいだろう。さっそく今日からそのようにしろ!」と言って、昼寝に戻りました。その日から毎日、お日さまがちょうど真上に来るころに森の動物たちは集まってクジをひき、当たったものがライオンのところへ連れて行かれました。

■お腹を空かせたライオンの怒り

ある日のこと。小さな子ギツネがクジに当たってしまいました。すると子ギツネは、「みなさん、ぼくをライオンのところへ一人で行かせてください。ぼくがライオンをやっつけてみせます。みんながまた元通り、平和に暮らせるようにね。」と言い出しました。「ライオンをやっつけるって?そんなことできるわけじゃないか!」動物たちは、口々に言いました。「ご心配なく。とにかく一人で行かせてください。」そして子ギツネは一人で出かけました。他の動物たちも、後からそとついて行きました。子ギツネは、ライオンのいる茂みの少し手前にある木のかげに隠れました。ライオンは寝そべって、食事が来るのを待っていました。しかし、今日に限ってなかなか動物たちは現れません。「どうしたんだ?遅いぞ。まあ良い。もう少し待とう。」ライオンは、また眠りました。しかし、待てどくらせど食事は来ません。だんだん夕方に近づき、お腹のすいたライオンの怒りは頂点に達し、跳ね起きると、ものすごい勢いで森の方へ駆け出しました。

■強いライオンと賢い子ギツネ

そのとき、子ギツネがとび出してきて、ライオンを呼び止めました。「ライオン様。王様。何をそんなに、怒っていらっしゃるのですか?」ライオンは、恐ろしい声で吠えました。「一日中腹をすかせて待っていたのに、おまえたちは約束を破ったではないか。もう許さん。すぐにおまえを食べてやる!」ああ、強いライオン様!お待ちください。じつは、大変なことが起こったので、お知らせにきたところです。」「何だ。早く言え!」今日あなたのお食事のクジに、わたくしの弟が当たりました。さっそく連れて来ようとしたら、途中で他のライオンがとび出して来たのでございます。そしてことわりもなく、あなた様のお食事の弟をさらって行ってしまいました。そこであなた様に助けていただこうと思って、こうして駆けつけて参ったのでございます。」ライオンは悔しがりました。「なんだと!わしより強いライオンがいるというのか!」「とんでもない!もちろん、あなた様の方がお強いに決まっています。ただそのライオンめは、あなた様なんか二つ数える内にやっつけてみせるなどと申しまして。もしよろしかったら、そのライオンの隠れ家へご案内しましょうか?」「すぐに案内しろ!」とライオンは叫びました。子ギツネは先に立って、ライオンを森の奥へ誘って行きました。子ギツネは森の井戸のそばで立ち止まると、声を低くしてライオンに教えました。「ほら、あそこですよ。」ライオンは井戸に近づいて中をのぞきこみました。すると暗い水の底で、大きなライオンがキバをむいています。もちろん、そのライオンは水に映った自分なのですが、ライオンはそんなことには気づきません。「こいつめ、見ておれ!」と叫ぶなり、ライオンは深い井戸に飛び込み、そのままおぼれ死んでしまいました。子ギツネは、踊りあがって喜びました。「見てみて!ライオンをやっつけたよ。もう恐ろしいライオンはいないんだ。平和がまたきたんだ!」森の動物たちもみんな井戸に駆けつけて、ライオンが死んだのを確かめ喜びました。動物たちは小さな子ギツネをほめて、口々にこう言いました。

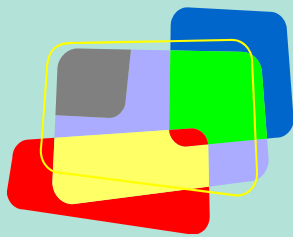
「強いことはたいしたことだ。だが、賢いことはもっとすごいことだ!!!」

おしまい



第2章

へえ～！スーダンと日本



比べてみよう！スーダンと日本



わたしたちの生活を振り返りながら、スーダンの生活の一部をのぞいてみましょう。
日本と似ているところ、違っているところは？

スーダンについて書かれた紙の一部を、なんとラクダに食べられてしまいました～!?
カッコに当てはまる数字や言葉を下の選択肢から選んで、それぞれの文章を完成させてください。

国の面積のこと

- ① スーダンの国土面積はアフリカ大陸最大で、世界でも (**A**) 番目の広さです。
そして、その大きさは、なんと日本の面積 (37万7000km²) の約 (**B**) 倍もあります。

住居のこと

- ② 何度も新築の家に住む、そんな贅沢な話は日本ではそうはないでしょう。しかし、スーダン南部のカポエタでは、(**C**) 年毎に家を建て替えます。というのも、家の素材が木の枝や藁で出来ており、作り直しが必要になってくるからです。作り直しといっても、日本のように家の建て替えを電話一本で業者に頼むのとはわけが違います。2ヵ月かけて家の土台になる木を他の郡から運んでくるそうです。もちろん (**D**) で。そして、集めてきた木や藁を使って村の (**E**) が雨季に入る前の3月～4月頃、一週間程かけて家を作り上げていくのです。

結婚のこと

- ③ スーダンのエド・ドゥエイム白ナイル地域に住む子どもたちは、(**F**) 歳以下で結婚することが当たり前となっています。しかし、男女ともにまだその年齢では肉体的、精神的に未成熟であり、心身の健全な成長が妨げられたり、教育の機会を奪われたり、様々な子どもの権利が侵害される危険性があります。
- ④ あなたが結婚をする際に一番大事だと考えることは何ですか？ルックス・性格・お金・・・愛？スーダン南部のパガックでは結婚をする際に、もっとも大事なことがあります。それは…(**G**)。結婚をするにあたり、花婿から花嫁へどれだけ (**G**) を持参出来るか、これが最も重要な要素です。もし、複数の男性にプロポーズされれば、最終的には (**G**) の数で勝敗が決まります。

ファッションのこと

- ⑤ 日本では失恋をすると (**H**) を変える女性もいると聞きますが、スーダンでも (**H**) を変えることには意味があるそうです。例えば、既婚 (結婚している) か未婚 (結婚していない) か。既婚女性は、髪の毛を (**I**) ため、(**H**) を見ればその人が結婚しているかどうか見分けがつきます。
- ⑥ スーダン南部では多くの人が (**J**) で生活しています。そんな人たちのファッションはというと、ビーズを使ったアクセサリー。そしてもう一つは、(**K**) することです。

【選択肢】

あ. 5 い. 7 う. 10 え. 12 お. 15 か. 18 き. 2～3 く. 4～5 け. 7～8 こ. 車 さ. 徒歩
し. ラクダ す. 女性 せ. 男性 そ. 子どもたち た. お金 ち. 家 つ. アクセサリー て. 牛
と. 口紅 な. 髪型 に. 服装 ぬ. 一部剃る ね. 全て剃る の. 縞模様に結う
は. ジャラピア (民族衣装) ひ. 日本から送られてきたTシャツ ふ. 裸 へ. マニキュア
ほ. 自分の体 (皮膚) に装飾 ま. 衣服をリメイク



P.13のこたえと解説です。



スーダンの暮らしや文化について
イメージし、現状を知ろう。

- [A] う. 10 [B] い. 7 [C] き. 2~3 [D] さ. 徒歩 [E] す. 女性 [F] お. 15 [G] て. 牛 [H] な. 髪型
[I] の. 縞模様に着 [J] ふ. 裸 [K] ほ. 自分の体(皮膚)に装飾

スーダンいろいろ

① 国の面積について

スーダンの国土面積はおよそ250万6000km²あり、世界第10位の広さを誇っています。

③ 早婚について

こうした慣習の背景には、社会的、経済的、宗教的など様々な理由がありますが、とりわけ大きな要因となっているのは貧困です。スーダンでは、男性がダウリー（持参金）を花嫁の家族に渡す慣習があるため、女の子がいる家庭にとって、結婚は家計を助ける手段とみなされています。また、女の子を早く結婚させ、食費や教育費などの出費を抑えたいとの考えも働いています。このような女の子たちの自由を奪う慣習をなくすために、プラン・ジャパン（日本の団体）はコミュニティの人々の意識変革を目的とした集会を開催し、早すぎる結婚が及ぼす悪影響について説明をしています。そして、女の子の教育の重要性を伝えるとともに、親や住民は負担の大きい伝統的な慣習から子どもを守る義務があることを訴えるなどして、意識啓発や家計の安定などに取り組んでいます。

④ 結婚システムについて

結婚にいたるシステムは、男性自身や男性の両親が、選んだ女性本人ではなく、彼女の家族に対して申し入れをし、双方の家族が「支払う」牛の数を交渉、合意すれば結婚は成立。女性は相手の男性がいくら不細工でも、生理的に受け付けられなくても、他に好きな人がいても断れないそうです。また地域によって、貢ぐものが牛であったり、羊、ヤギ、またはお金であったりと違い、この違いが地域間による結婚の妨げになることもあるとのこと。

⑤ 髪型について



左の写真は、既婚女性の写真です。我が子に不幸があった際、女性は髪の毛の一部を剃ります。もし自分の夫に不幸があったときは、髪の毛の一部ではなく、すべてを剃ります。ここスーダンでは、男性が一家の大黒柱と考えられているため、子どもの場合は一部、夫の場合はすべて剃るようです。また、夫が亡くなった場合は、いつも身につけている色鮮やかなアクセサリーもすべて外すということです。

⑥ 体や顔の模様について

幼い頃に顔や腕、お腹に鋭利なもので模様を描きます。小さな女の子のまだ新しい傷口を見るとかなり痛々しいですが、年配者の模様を見ると、ファッション的美しさと同時に何か人生の深みまで伝わってくるといいます。また、顔に模様を入れるのには、ファッションの意味合いと、もう一つ理由があります。それは、争いなどで家族が離れ離れになってしまった際、この顔の模様から自分の子どもを探し出すことが出来るという昔からの慣習によるものです。今でも顔の模様を見ると、どこの地域の人か判別出来るそうです。



難民を助ける会

スーダンを味わおう。

- ① スーダンの人たちはどんなものを食べて暮らしているのでしょうか?実際に作って食べてみましょう。
日本料理と似ている点・違って点がありましたか?



旬の食材図鑑

- ① みなさんはオクラをご存知ですか?ヌルヌル・ネバネバが特徴で、輪切りにすると星型になる、あの緑色の植物です。ふだんオクラをどのような調理法で食べているでしょうか?知っているだけ書き出してみましょう。

- ② じつはこのオクラ、スーダンを含むアフリカ北東部が原産なんだとか。(諸説あるそうですがこの説が有力)ということで、スーダンでもよく食べられているのですが、どのように調理されていると思いますか?
グループで話し合い、全体で発表してみましょう。

- ③ では、実際にスーダンでよく食べられているというオクラを使った料理「ムラーバミヤ (マトンとオクラのシチュー)」を作ってみましょう。

大使館の食卓

<材料> (5人分)

マトン(羊肉)	1kg
オクラ	10本
玉ネギ	1.5個
ニンニク	1/2個
クミン	適量
塩	適量
黒コショウ	適量



大使館の食卓

<作り方>

- ① 鍋にサラダ油を敷いて粗くみじん切りにした玉ネギをしんなりするまで炒める。
- ② 炒めた玉ネギはフードプロセッサーにかけてペースト状にする。
- ③ ペースト状にした玉ネギを再び鍋の中へ入れて、ブツ切りにしたマトンを入れる。
そこに塩を少々加えて軽く炒める。
- ④ 鍋に肉が浸るくらいの水(約1.5カップ)を加えて軽く混ぜたら、30分弱火でじっくり煮込む。
(一度マトンをオープンで焼いてから煮込むと香りよく深い味わいになる)
- ⑤ 30分煮込んだらオクラを生のまま2センチ大に切って入れ蓋をして15分煮る。
- ⑥ 摩り下ろしたニンニク、黒コショウ、クミンを入れ、塩で味を調える。
- ⑦ 蓋をしてこのまま味が染み込むのを待てば完成!

- ④ ムラーバミヤはおいしく作れたでしょうか?ふだん食べているオクラ料理と比べてどうでしたか?
グループで話し合ってみましょう。



身近な「食」をテーマに、楽しみながら
スーダンを感じる。

- 5 スーダンで一般的によく食べられている料理には、ムラーバミヤ以外にも仔羊の肉入りスープのショルバ (Shorba) やショルベ・アッダスというレンズ豆のスープ、牛肉を詰めたトマトのマスチ (Maschi)、きゅうり入りのヨーグルトサラダ、ターマヤー (Tamayya) という、中東のファラフェルサンド (つぶした豆を揚げて、ピタパンにはさんだ料理)、焼肉のケバブ、ミートボールのコフタなどがあります。
- 6 スーダンの郷土料理でも、ごく一般的な庶民の味といわれている料理をもうひとつ紹介しようと思います。「フル・メダマス」というそら豆のディップです。レシピはこちら。

<材料> (4人分)

乾燥そら豆を水で戻したもの	500g
大きめのタマネギ	1個 (みじん切り)
大きめのトマト	1個 (さいの目切り)
オリーブ油	大さじ1杯半
クミン・パウダー	大さじ1
パセリ (みじん切り)	3分の1カップ
レモン果汁	2個分
塩、コショウ	適量
粉唐辛子	お好みで



 世界の食卓から

<作り方>

- ①乾燥そら豆は、重曹を入れた水に一晩浸してふやかしておく。
- ②そら豆の皮をむき、豆が完全に柔らかくなるまで弱火でゆでる。
- ③ゆであがったら湯を完全に切り、しゃもじやスプーンで混ぜて形状がなくなるまでつぶす。
- ④これにみじん切りのタマネギ、さいの目切りのトマト、オリーブ油、クミン・パウダー、パセリ、レモン果汁を入れてかきまぜ、再び火にかけて5分ほど中火で煮る。その際、よくかき混ぜながら、底がこげつかないように注意する。
- ⑤塩、コショウで好みの味付けする。
- ⑥これを、ナンやパンにのせて召し上がれ。

スーダンでの食事風景



 五十嵐幸雄

スーダンでは訪問が食事時間に重なると、当然のように食事に誘われるそうです。特別な訪問の場合はチキンなど高級な食材が、ふらっと立ち寄った時はフル・メダマスなどのディップが出てくることが多いんだとか。

左の写真は実際に食事をしているところを撮ったものです。みんなでディップの入ったボールを囲み、それぞれがパンですくい取って食べています。



スーダンでは1杯50mlほどのお茶やコーヒーに、砂糖をスプーン3杯以上入れる人が大半。「砂糖抜きをお願いします」と言わないと、とっても甘いお茶が出てくるので気をつけましょう。



ちょっとブレイク



スーダン人のいい話・日本人のいい話

2010年1月現在、JICAスーダン駐在員事務所でボランティア調整員をされている五十嵐さんに伺った、スーダンの人々の「ちょっといい話」を一つご紹介します。

●路線バスで感じたスーダン人のやさしさ

毎日の通勤には、市内を走る公共路線バスを使っています。手ごろな運賃（約20円）も魅力ですが、スーダンの風に吹かれながら現地の人と空間を共にする快適さも、ついつい乗ってしまう理由の一つです。座席数は、補助席を含めて横に4人がけ、縦に5～6列ほど。「補助席しか空いていないなあ」と思って乗り込み、補助席を出そうとすると、なんと横や後ろの乗客が手伝ってさっと補助席を出してくれます。これは私が外国人だから特別というわけではなく、現地人同士でも同様。むしろ女性が乗ってきた場合は、周りの男性が補助席を出すのが当然で、女性はそれを行っているかのようです。



路線バスの中

 岡田晃範

運賃は乗車後、乗員に支払います。しかし、後部に座ってしまい補助席が埋まっていると、通路がないため前にいる乗員に直接手渡すことができません。そんなときは、間に座っている人たちがお金を後ろから前へ手渡していき、乗員へ届けてくれます。しかもお釣りがあるときは、再び人々の手を介して戻ってきます。「人に渡したら盗られてしまうのではないか」と身構えていた私は、この一連の行動にスーダンの人々の汚れない心を感じ、一瞬でも彼らを疑ってしまったことを申し訳なく思いました。

●すぐにやってくるお助け隊

ある日の夕方、自家用車で帰路についた同僚は、薄暗い夜道にぼっかり空いた穴に気づかず、前輪がはまって立ち往生してしまったことがありました。さて、どうしたものかと困っていると、ものの1分もしないうちにあちこちから男性が集まってきます。そして、声を合わせて車を持ち上げ、穴から抜け出させてくれました。まるで示し合わせたかのような手際の良さにあっけにとられていると、一人の男性が「もう大丈夫だ」と笑顔を向け、まるで何事もなかったように全員が立ち去っていきました。スーダンにはお金で買う特別なサービスはなくても、お互いの助け合いで問題を解決しようとする雰囲気があちこちに満ち溢れているようです。

●スーダン流おもてなしの心

暑い時期は日中の気温が50度を超えるスーダン。そんなとき、どこを訪れても冷たい水と炭酸飲料を出してもてなしてくれる気配りには、本当に頭が下がります。客人は丁重にもてなすものだという教えが、小さいころから身についているようです。このほか、シャイ（紅茶）やガフワ（コーヒー）を勧められることもしばしばあります。

また、訪問が食事時間に重なると、当然のように食事に誘われます。特別な訪問の場合はチキンなど高級な食材が出てきますが、何気なくふらっと立ち寄ったときは、豆をペースト状になるまで煮込んだフルと呼ばれる庶民の食べ物を、パンと一緒にいただくことが多いですね。

上のお話を聞いて、あなたはどう思いましたか？スーダンの人々のいいところが伝わってきたでしょうか？

行ってみたくなくなった人もいるかもしれませんね。

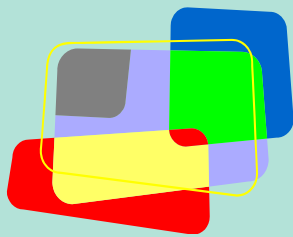
さて、もしあなたが日本人のいいところを外国の人々に伝えるとしたら、どのようなお話が思い浮かびますか？

「日本人のいいところ」について、たくさんの場面が思い浮かぶといいですね！



第3章

一緒に考えよう！こんな課題



「難民」ってなに？



みなさんは「難民」についてどんなことを知っているでしょうか？
ここでは難民に関する基本的なことから学びます。

戦争、宗教や民族対立などの理由で住む場所を追われた「難民」と呼ばれる人々がいることを知っていますか？
今世界には何人くらい「難民」として暮らす人がいるのか、彼らはどのような生活をしているのか、想像してみることから始めましょう。そして、「難民問題」のどこが問題なのか、一緒に考えてみましょう。

- ① 「難民」の人々はどのような生活をしているのか想像してみてください。（想像するのが難しいときは、第1章の写真B・G・K (P.9～10) を参考にしてください。）そして、私たち日本人の生活と似ているところ・違うところについてグループで話し合ってみましょう。

※難民とは？

難民の地位に関する条約（難民条約）では、難民を「人種、宗教、国籍、政治的意見やまたは特定の社会集団に属するなどの理由で、自国にいと迫害を受けるか、あるいは迫害を受ける恐れがあるために他国に逃れた人々」と定義しています。（より詳細な説明→P.20）

- ② 写真「難民の暮らし」(P.21～22)を見ながら、難民の人々はどのような生活をしているのか想像してみましょう。それぞれの写真は、何をしているところだと思いますか？ 4～5人のグループで話し合い、写真の右の空欄に書き込みましょう。他のグループの答えも聞いてみましょう。
最後に写真の解説 (P.23) を読み、わかったことや感想を話しあいましょう。

- ③ 次は、スーダン難民に関する質問です。

- A スーダン難民は世界中に何人いる？ _____人
- B それって、世界で何番目に多い難民？ 世界第 _____ 位
- C 彼らを受け入れている国はどこ？（複数可） _____

資料 (P.24) を読み、スーダン難民と世界の難民の現状を確認しましょう。

- ④ ここまでの作業を通して、あなたの「難民」についての理解やイメージは何か変わったでしょうか？
今日新たに知ったことも含めて、次の3つについて話し合いましょう。

- D 「難民」はなぜ生まれるのだろうか？
- E 「難民」の何が問題なのだろうか？
- F 「難民」を減らすために大切なこと、必要なこと、できることは何だろうか？

- ⑤ 最後に今日の感想を紙に書いて、全体で発表し合いましょう。



エジプトのピラミッドの建造目的は不明のままですが、スーダンのピラミッドの目的は明らかに「お墓」です。
また、エジプトのピラミッドの角度は52～53度ですが、スーダンのものは65～68度でより鋭角な形をしています。



難民と難民条約

1951年の「難民の地位に関する条約（難民条約）」では、難民は、「人種、宗教、国籍、政治的意見やまたは特定の社会集団に属するなどの理由で、自国にいと迫害を受けるか、あるいは迫害を受ける恐れがあるために他国に逃れた」人々と定義されています。日本は、1981年に「難民条約」に加入し、翌年、「出入国管理および難民認定法」が発効されました。こんにちでは、難民とは、政治的な迫害のほか、武力紛争や人権侵害などを逃れるために国境を越えて他国に庇護*1（ひご）を求めた人々を指すようになっていきます。また、紛争などによって住み慣れた家を追われたが、国内にとどまっているかあるいは国境を越えずに避難生活を送っている「国内避難民」や「紛争被災民」も近年増加しています。このような人々も、難民（難民条約による難民）と同様に外部からの援助なしには生活できません。適切な援助が実施できなかった場合、これらの人々は国境を越えて難民となり、結局受け入れ国の政府や国際社会は、より重い負担を強いられる事になってしまいます。



国連難民高等弁務官事務所UNHCR、国連UNHCR協会

*1: 庇護権とは、国家が自国の領土内、あるいは外国にある大公使館に逃れてきたものを保護し、その引き渡し請求を拒絶できる国際法上の権利

国連難民高等弁務官事務所UNHCR

国連の難民支援機関で、2008年現在、110カ国以上に（本部を含む）事務所を設置し、3,000万人以上を支援しています。主な援助対象者は次のとおりです。

●難民(Refugee)

人種や宗教、国籍、政治的な意見の違い、特定の社会集団に属していることなどによって、政府などから迫害を受けたか、受ける恐れがあったり、戦争によってしかたなくほかの国へ逃げていかざるをえなくなったりした人々のことを「難民」と呼びます。私たちは、通常、基本的人権の保護などを自国政府に頼ることができます。しかし、難民となった人々は、その保護を受けることができません。

●国内避難民(IDP=Internal Displaced Persons)

「難民」は国境を越えて初めて難民と定義されます。しかし、国内にとどまりながらも、故郷を追われ、難民と同じ状況にある人々のことを「国内避難民」と呼び、近年では、UNHCRの援助対象者に含まれます。

●帰還民(Returnee)

難民として避難していたところから自分の国（故郷）に戻る人のこと。

●庇護(ひご)希望者(Asylum-seeker)

自国を追われ、他国に難民として保護を求めている人々のことを「庇護希望者」と呼びます。

UNHCRが難民と認定しても、その国の政府が難民と認めなければ保護を受けられないことがあります。UNHCRは、難民が不当な扱いを受けないように各国政府の協力を求めています。難民支援活動としては、難民保護（避難している国で、難民の権利が保障されるように働きかける）、物的援助（難民キャンプを設営し、援助物資を支給する）、キャンプから通常の暮らしへ（本国への帰還、避難先での定住、第三国への定住）を行っています。



国連難民高等弁務官事務所UNHCR、国連UNHCR協会

「難民の暮らし」何をしているところかな!? 写真の解説を書いてみましょう。

1



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

4



5



6



「チャドのスーダン難民キャンプ」 写真①～⑥の解説

写真 ①

チャドのキャンプに到着し、
トラックを降りる
スーダン難民(2004)



トラック10台で難民約300人が難民キャンプに到着した。悪路(日本のような舗装道路ではない)のため、移動は大変。また、トラックの台数も限られている。UNHCRのトラックは、チャド・スーダンの国境を、難民を乗せながら走り、難民キャンプへ移動する。

写真 ②

キャンプに辿り着き、
とりあえず水を飲む
スーダン難民の男の子
(2004)



キャンプに到着すると、まず難民としての登録を行う。この人々は登録を待っているところ。これを見てわかるとおり、ほとんどが女性と子どもだ。なんと、難民の約8割は、女性と子ども。お年寄りを除く成人男性は、民兵と戦っているか、家畜などを守るために家に残っているか、あるいは殺されてしまったかのいずれかだ。

写真 ③

キャンプに辿り着き、
とりあえず水を飲む
スーダン難民(2004)



すわりこむ老人、はだしである。国境をさまよった後、トラックに拾われて難民キャンプに到着した。この写真を撮ったのは5月から6月にかけてである。この時期、気温は、昼間は50℃、夜でも40℃ある。そんな中、トラックを待ちきれずに歩いて難民キャンプまで逃げてくる人もいる。

写真 ④

テントを支給された
スーダンの国内避難民
(2004)



砂嵐が激しいため、砂がテントの表面に付着し、テント表面に表示されている「UNHCR」の文字も見えなくなっている。砂嵐が激しいときには、昼間でも太陽が隠れてしまう。このあたりはとても乾燥した地域であり、もともと木もあまりない。紛争を逃れた難民の人たちは、生きるために炊事のための薪を求めて木を切り、まばらな低木まで刈り取ってしまう。また、難民の人たちが連れてきた家畜も、生きるために木の葉を食べてしまう。その結果、きわめて深刻な環境破壊が引き起こされる。UNHCRは、緑を取り戻すための植林プロジェクトも行っている。

写真 ⑤

小さい妹を背負って援助物資
を受け取った少女(2004)

10L入りポリタンクに入れて持ち帰る。UNHCRは、難民一人、一日あたり、15リットルの水を配給することを基準としている。15リットルとは、通常の水洗トイレを1～2回流すくらいの量。これで、飲み水・炊事・洗濯・体を洗うことなどをすべてまかなう。UNHCRは多くの国際機関やNGOと協力して、難民キャンプを運営している。ここでは、医療行為は国境無き医師団(MSF)に、食糧調達は、国連世界食糧計画(WFP)に、学校運営はその分野が得意なNGOになどというように、多くの国際機関やNGOと契約を結んで仕事を行う。UNHCRは全体の調整役をしている。



写真 ⑥

炊事場所(2004)



難民の人たちは、配給された食糧を自分たちで調理する。このキャンプでは、デンプン源としては、とうもろこしの粉・ソルガム(穀物)、蛋白源としては、豆が支給されている。その他、調理のための油も配られる。一日、大人一人あたり1,900キロカロリー分の食糧配給をめざしている。栄養失調の子どもたちや妊産婦、病人には補助給食を用意する。

難民出身国 上位10カ国 *1

UNHCR JAPAN (2008年末現在)

順位	難民の出身国	難民の庇護人数	難民が庇護を受けた主な国
1	アフガニスタン	2,833,128人	イラン/ロシア/ウズベキスタン/インド/カザフスタン/ パキスタン
2	イラク	1,903,519人	ヨルダン/トルコ/シリア/レバノン/エジプト/イラン/ インドネシア/マレーシア
3	ソマリア	561,154人	ケニア/エチオピア/シリア/エジプト/ウガンダ/トルコ
4	スーダン	419,248人	ウガンダ/エチオピア/ケニア/中央アフリカ共和国/ コンゴ民主共和国/エジプト/チャド/イスラエル/シリア
5	コロンビア	373,532人	エクアドル/アメリカ合衆国/カナダ/スペイン
6	コンゴ民主共和国	367,995人	ザンビア/ブルンジ/マラウィ/ウガンダ/タンザニア/ ジンバブエ/コンゴ共和国/ルワンダ
7	パレスチナ占領地*2	340,016人	ヨルダン/イラク/シリア
8	ベトナム	328,183人	タイ
9	ブルンジ	281,592人	タンザニア/マラウィ/コンゴ民主共和国
10	トルコ	214,378人	イラク

*1 難民として認められた者の他に、難民の地位が確かめられないが、難民と同じような危険から保護を受けている人数も含まれます。

*2 UNHCRが支援対象としているパレスチナ難民のみを指します。

UNHCRの支援を受けている国内避難民の推定数*3 上位5カ国(2008年末現在)

順位	国名	国内避難民数
1	コロンビア*4	3,000,000
2	イラク	2,647,000
3	コンゴ民主共和国	1,460,000
4	ソマリア	1,277,200
5	スーダン	1,201,000

*3 UNHCRが保護し、支援している国内避難民の数値のみが反映されています。

*4 コロンビア憲法裁判所によると、実状の規模と政府の登録数とは、大きな隔たりがあるとしています。最新の判決によれば、コロンビアの国内避難民は300万人近いと引用しています。(Order of Compliance 218, dated 11 August 2006, related to the Landmark Judgment T-025)

もしも難民として逃げるとしたら…



難民の人々は、緊迫した状況の中で短時間のうちにあわただしく移動しなければなりません。もしもあなたが難民として緊急避難しなくてはならなかったとしたら、どうしますか？



- ① 次の誕生日プレゼントに欲しいものは何ですか？自分が欲しいものをひとつだけ“欲しいものカード” (P.26)に書き、自分のポケットにしまっておいてください。
- ② 今日は、「難民になるとはどういうことか」を理解するために、「一家に突然の危険が迫り、自分の家を急いで出て、危険のない所まで逃げていくまで」を疑似体験（シミュレーション）してみましょう。4～5人で1組のグループを作ってください。ここからはグループがそれぞれ難民の家族ということで進めていきます。

では、「もしも難民になったら!?シミュレーション」スタート！

- ③ 「内戦が始まったぞ～！敵がこの村を襲撃するらしい…逃げろお急げ～!!!」家族ですばやく話し合っ、持ち出すものを9個まで考え、「難民のかばんシート」 (P.26)に記入してください。
(制限時間：3分)



【記入例】

すべて埋めないと、制限時間内に書いたもの以外は持ち出せなくなってしまいますよ～。

* 開発教育研究会編著2000年『新しい開発教育のすすめ方』難民（古今書院刊）P.19の「緊急持ち出しカード」を利用することもできる。

- ④ やっとのことで国境の近くまで逃げて来ました。しかし、国境を越えるためにはボートに乗らなくてはなりません。そしてボートに乗るには、持ち物をたったの3つに減らさなくてはなりません。1分で話し合い、必要なものに○をつけてください。
- ⑤ 持ち出すものとして残ったものは何ですか？どうしてそれを残しましたか？グループで話し合っ、全体で発表し合ってみましょう。

★実際の難民は…

- 水や食料を3つの中を選ぶグループが多いと思いますが、実際に家族全員が数日間必要とする飲料水や食料をすべて持ち出すのは、その容積や重さ、またサッと持ち出さなければならないような状況から考えると、かなり厳しいと思われます。
 - あるインドシナ難民が持ち出したものの例として、漢方薬・朝鮮人参（過酷な移動に耐えられるように）、指輪・貴金属（お金に換えられるようなもの）、海外に住む親戚や知人の住所が書かれたメモなどがあります。
 - 難民生活は、逃げた後もいつまでこの状況が続くかわかりません。家族と離れ離れになってしまうこともあります。出口が見えにくい難民生活は、復旧活動が進むにつれて生活環境が戻る可能性が高いような自然災害の被災者とは状況が同じではないのです。
- ⑥ それでは、1で誕生日プレゼントに欲しいものを書いたカードをポケットから出してください。難民のかばんシートに書かれたものと比べて、どんなことに気づきましたか？グループで話し合ってみましょう。また、全体でも感想を共有しましょう。



P.25の欲しいもののカードと難民かばんシートです。



緊迫した状況の中、慌ただしく移動を強いられる難民の困難な状況を疑似体験する。

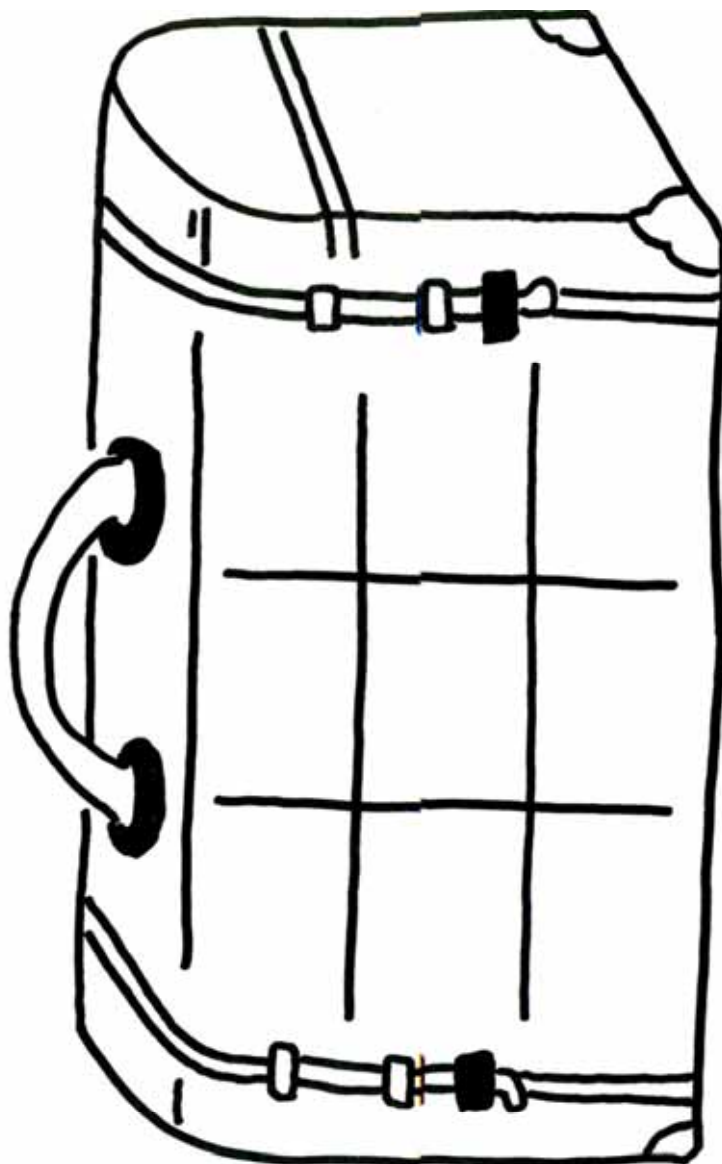
欲しいもののカード



☆誕生日プレゼントに欲しいもの☆



難民のかばんシート



難民を受け入れる立場から



難民を受け入れる立場を疑似体験しながら、どうしたら難民を発生させずにすむのかを考えます。



3～5人でグループを作り、「桃太郎伝説」というゲームに参加して下さい。このゲームは、各グループを一つの国として、これから起きる様々なことに対して「国としてどう対応するか」を考えるゲームです。

ゲームをするにあたって、まずは各グループで「国づくりカード」(P.28)を読んでそれぞれの「国」を作るところから始めましょう!

国ができたところで、「桃太郎伝説」の始まりです!

みなさんは、それぞれの国の意思決定に関わる人々です。これからいろいろなことが起こりますが、その時あなたの国は、国としてどう対応するのか、グループで話し合って決めて下さい。各グループの検討結果は、そのつど発表しあい、全体で共有しましょう。

それでは、始めましょう。

- ① 大変だ! ある日、川の上流から、なんと赤ちゃんが1人流れてきました。事件なのか事故なのか、その理由はわかりません。あなたたちの国では、このことに対してどのように対応しますか? 相談してください。
- ② またまた大変だ! なんと1人目の赤ちゃんに続き、2人目の赤ちゃんが流れてきました。今度はどうしますか?
- ③ 二度あることは三度ある!? なんと3人目の赤ちゃんが流れてきました。今度はどうしますか?
- ④ これは事件!? 事故!? 今度は上流から自分たちの国のものではない船が流れてきました。中には赤ちゃんが100人乗っています。さて! どうしましょう?
- ⑤ (ここまできたら予想通り?) うーん大変だ!? 今度はとても大きな船が流れてきました。中には赤ちゃんではなく大人(男女)と子どもが合わせて100人乗っています。あなたたちの国はどうしますか?
- ⑥ ここまでのワークを、グループごとに以下の視点でふりかえってみましょう。
 - A どうして上流から人が流れてきたのでしょうか? 可能性のありそうな原因や理由をできるだけたくさん出してみましょう。
 - B 流れてくる人数や、流れてくる人の年齢によって、国の対応は変わりましたか? もし変わっている場合は、なぜ変わったのでしょうか? もっと人数が増えたら、国の対応は変わるのでしょうか? それはなぜでしょう?
 - C もしあなたが自分の国から避難しなければならないとしたら、それはどんな時でしょうか?
 - D 流れてきた人たちにとって、自国に何があれば、他国に逃げる必要なく、母国に居続けることができたと思いますか? 人が流れて来なくなるには、何が必要なのでしょう?
- ⑦ P.28の資料を読んでみましょう。そして、このワークの感想を共有しましょう。



このワークの中では「船で流れてくる人=社会的弱者」を表しており、ここでは「難民」を指しています。しかし、あえてワークを提供する側からそれについて言及する事はせず、参加者からの気づきを促すような問いかけにとどめておくのでよいでしょう。



「国づくり」カード



各グループ、以下のことを話し合い、自分たちの「国」の大枠や特徴を自由に決めてください。
国づくりは自由ですが、1つだけ、どの国にも共通する前提があります。それは、
どの国にも国を縦断する川が一本流れている! ということです。
(日本のように孤立した島国ではなく、他の国々と国境を接している国として考えてください。)
では、国づくりを始めましょう! (模造紙に自分たちの国を、絵や文字で表してみましょう。)

- * 自然がいっぱいの国? それとも大都会? 山岳地帯? 海沿いの国? 砂漠? 熱帯? 寒冷地?
- * 農業、漁業、工業、商業、観光業... 国の資源や盛んな産業は何でしょう。
- * 国の中にはどんなものがありますか? 住宅地帯、商業地帯、教育施設、官公庁、交通...
みなさんが普段使用する施設や利用する施設を考えながらイメージしてみてください。
- * どのくらいの規模の国? 人口は? (例: 日本の人口は1億2千万人、愛知県の人口は741万5千人)
- * 政治の形態、国のウリ、福祉や教育の在り方、国民性、その他自由に発想して見てくださいね!

難民条約と国内法

日本は1981年に難民条約に加入し、出入国管理令を出入国管理及び難民認定法(以下「難民認定法」と記載)に改正して、難民認定制度を設けました。日本の難民認定制度における難民の定義は、難民条約の定義をそのまま引用しています(出入国管理及び難民認定法2条)。実際に難民認定申請を受け、調査やインタビューを行うのは、法務省入国管理局の入国審査官です(難民認定法61条の2の3)。主に東京・横浜・大阪・名古屋や空港内にある入国管理局で難民認定申請を受理していて、難民としての認定を希望する人は、所定の申請書に記入することで申請ができます。しかし、このような難民認定申請の方法は、日本人にもほとんど知られておらず、ましてや日本語もできない難民が知ることは容易ではありません。

日本の難民申請数・認定数

2008年末までに、日本に難民認定申請をした人は1,599人で、難民認定制度が発足した1982年以降で最高でした。国別では多い順に、ミャンマー979人、トルコ156人、スリランカ90人となっています。
2008年に難民として認定された人は57人でした。

認定までの苦労・認定の効果

難民認定申請をしてから認められるまでの間に多くの困難があります。難民の人たちは、故郷で、もしくは逃れてくる間に過酷な経験をしている人が少なくありません。しかし、いざ逃れた先の日本ではそのような心身の疲れを癒す暇なく、目の前の手続きに取り組んでいかなくてはならないのです。しかも、手続き中は(法務省での手続き、その後場合によっては裁判と続きますが)一切の社会保障が受けられず、かつ、就労も許可されないことがあります。なお、申請してから判断が下されるまでの時間は決まっていません。何年も待たされる例が多かったのですが、1998年から次第に早くなってきています。2004年末現在、178人の人が、判断を待ちながら日本で暮らしています(未処理件数)。

難民として認定されると、難民認定証明書を受け取ります(難民認定法61条の2第3項)。そして、通常は日本に定住することが許されます。永住の資格を得る許可も通常より容易になります(法61条の2の5)。難民旅行証明書という、パスポートの代わりになる書類も発行されます(法61条の2の6)。これまでに日本で難民と認められた人の数は全部で330人です(2004年末現在)。また難民認定申請をしたのに難民の認定をしない処分を受けた人は、異議を申し出て再度審査を受けることができます(その審査決定も法務大臣が行います。)。2004年末までに日本で難民認定申請をしながら難民と認められなかった人の数は全部で2,524人です。

 難民認定に関する数値は、法務省発表

「スーダンってこんな国」ふりかえりシート

位置は？地形
は？気候は？



こんな所が
ある



人々はこんな
生活してる



スーダンってこんな国



スーダンの
素敵なところ



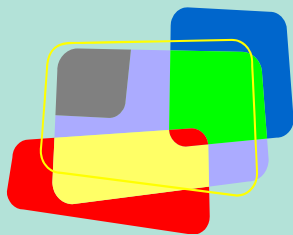
スーダンから
学んだこと





第4章

そして未来へ



世界を変えるスピーチ



地球は今、様々な課題を抱えています。
あなたが今、一番気になる課題は何ですか？



- ① みなさんは、「グローバルイシュー（地球的課題）」ということばを聞いたことがありますか？
原因が特定の地域だけでなく地球全体に関係している、深刻化すれば地球全体に影響がある、解決には地球全体の長期的な協力が必要である…そんな課題を「グローバルイシュー」と呼びます。
具体的にどんな課題があると思いますか？ グループでできるだけたくさん模造紙に書き出してみましょう。
- ② それぞれのグループが書き出した課題を発表し、みんなで共有しましょう。
- ③ 今みんなで出し合った課題の中で、あなたが一番気になる課題は何ですか？
グループで話し合って、1つ選んでみましょう。
また、その課題について世界はどういう状況なのか、日本はどういう状況なのか、調べてみましょう。
- ④ さて、グループで選んだ課題を解決するための会議が開催されることになり、5分間のスピーチをすることになりました。なぜその課題に関心があるのか、その課題についてどんなことを思っているのか、その課題を解決するためにどうすればいいと思うか…などを盛り込んで、スピーチの原稿をグループのみんなで作っていきましょう。
- ⑤ では、会議の会場を想定して、実際にスピーチをしてみましょう。
- ⑥ ここに、「伝説のスピーチ」と言われている12歳の少女のスピーチがあります。この少女は、カナダに住む日系4世のセヴァン・カリス＝スズキ。遊ぶことが大好きなふつうの女の子です。そのふつうの女の子が、世界中のおとなたちを感動させたスピーチです。聞いてみてください。（P.33～35）
- ⑦ スピーチをしてみてどうでしたか？
他のグループのスピーチや「伝説のスピーチ」を聞いてどんなことを感じましたか？
感想を話し合ってみましょう。



グローバルイシュー (地球的課題) と持続可能な社会

「グローバルイシュー」には様々な課題が含まれますが、大きく「人権」と「環境」の2つに分けられます。例えば、1992年ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミットで採択された、21世紀に向けた持続可能な開発を実現するための行動計画『アジェンダ21』では、貧困、人口問題、健康と環境、人間居住、大気保全、森林減少、砂漠と干ばつ、生物多様性の保全などの課題をとりあげています。また、2000年の国連ミレニアム・サミットで採択されたミレニアム開発目標では、2015年までに達成すべき目標として下記の8つの項目を掲げ、189の加盟国が公約しました。

それらに掲げられているそれぞれの課題は、「貧困の問題が紛争につながる」「紛争がさらなる貧困を生みだす」「紛争は最大の環境破壊である」「環境が破壊されれば、ますます貧困になる」といったようにつながっており、原因にも結果にもなり得る悪循環をつくりだしています。さらに、地域における課題、たとえば「多文化共生」などの課題も地球の課題と共通する部分が多く、つきつめれば同じ原因で問題が起こっていたりします。

「持続可能な社会」とは、「持続可能な開発」、つまり、次世代のニーズを満たす可能性を損なわないで環境を利用し、現在の世代のニーズを満たす開発が行われる社会のことを言います。グローバルイシューを解決しない社会は、持続「不可能」な社会なのです。

ミレニアム開発目標 (MDGs)

「今日われわれが直面する主たる課題は、グローバル化が世界のすべての人々にとって前向きの力となることを確保することである」とする国連ミレニアム宣言では、国際社会の支援を必要とする喫緊の課題に対する具体的数値目標として、8の目標、21のターゲット、59の指標を掲げています。

● 貧困と飢餓をなくそう！ (極度の貧困と飢餓の撲滅)

地球上では、5人に1人が1日1ドル未満の所得で生活をし、7人に1人が慢性的な飢えに苦しんでいます。また、もっとも裕福な1%の人々が、もっとも貧しい57%の人々と同じだけの所得を得ています。所得貧困により、十分な栄養を得られない、適切な教育や保健医療を受けられない、安定した職を得られないという困難に多くの人々が苦しんでいるのです。

● 小学校に通えるようにしよう！ (普遍的初等教育の達成)

1億1,500万人の子どもが学校に通っておらず、多くは南アジアとサハラ以南アフリカに住んでいます。途上国では5人に1人が学校に通っていないことになり、その5分の3は女の子です。また、世界中の成人のうち6人に1人が読み書きできません。その数は、8億7,600万人で、その3分の2は女性です。

● 男女の差をなくそう！ (ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上)

教育を受けていない母親から生まれた子どもは、教育を受けている母親から生まれた子どもに比べ、栄養不良や5歳未満で死亡する割合が2倍になるというデータがあります。また、教育を受けた母親の子どもの就学率も高くなっています。

● 赤ちゃんを守ろう！ (乳幼児死亡率の削減)

2002年、1,000人の子どものうち5歳未満で亡くなった子どもの数は、先進国では7人、南アジアでは97人、サハラ以南のアフリカでは174人に上ります。その背景には、貧困による不十分な食糧、不衛生な水、不公平な医療サービスが挙げられるほか、紛争や災害などで抵抗力の弱い子どもたちが犠牲となっているのです。

● お母さんを守ろう！ (妊産婦の健康の改善)

51万5,000件に上る妊産婦の死亡の99%は途上国で起こっています。先進国では、2,900人に1人の妊産婦死亡率がサハラ以南アフリカでは13人に1人です。

● 病気をふせごう！ (HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止)

HIV感染者の90%以上が途上国の人で、サハラ以南アフリカは感染者全体の70%を占めています。毎年5億人がマラリアに感染し、100万人以上が死亡しています。このうち90%はサハラ以南アフリカに住んでいます。

● 暮らしを良くしよう！ (環境の持続可能性の確保)

世界の森林は、2000年までの10年間で日本の国土面積の2.5倍にあたる約9,400万ヘクタールが減少しました。そのうちの96%がアフリカと南米の熱帯林です。エネルギーの消費量は、世界の上位10カ国が全体の65%を占めており、そのほとんどが先進国です。世界の10億人以上が安全な水を利用できずにいます。下水道などの基本的な衛生施設を利用できない人は26億人にのぼります。

● 世界の人々で助け合おう！ (開発のためのグローバル・パートナーシップの推進)

ミレニアム開発目標の達成には世界的な協力体制の下での取り組みが必要です。もはや開発は、国連や政府やNGOだけが取り組むものではありません。世界中の人々が協力しなければいけないのです。



この星をこれ以上こわし続けないで

～12歳の少女が地球サミットで語った伝説のスピーチ～

こんにちは、セヴァン・スズキです。エコを代表してお話します。

エコというのは、子ども環境運動（エンヴァイロンメンタル・チルドレンズ・オーガニゼーション）の略です。

カナダの12歳から13歳の子どもたちの集まりで、今の世界を変えるためにがんばっています。

あなたたち大人のみなさんにも、ぜひ生き方を変えていただくようお願いするために、

自分たちで費用をためて、カナダからブラジルまで1万キロの旅をしてきました。

今日の私の話には、ウラもオモテありません。

なぜって、私が環境運動をしているのは、私自身の未来のため。

自分の未来を失うことは、選挙で負けたり、株で損したりするのとはわけが違いますから。

私がここに立って話をしているのは、未来に生きる子どもたちのためです。

世界中の飢えに苦しむ子どもたちのためです。

そして、もう行くところもなく、死に絶えようとしている無数の動物たちのためです。

太陽のもとにでるのが、私はこわい。オゾン層に穴があいたから。

呼吸をすることさえこわい。空気にどんな毒が入っているかもしれないから。

父とよくバンクーバーで釣りをしたものです。数年前に、体中がんでおかされた魚に出会うまで。

そして今、動物や植物たちが毎日のように絶滅していくのを、私たちは耳にします。

それらは、もう永遠にもどってはこないです。

私の世代には、夢があります。

いつか野生の動物たちの群れや、たくさんの鳥や蝶が舞うジャングルを見ることです。

でも、私の子どもたちの世代は、もうそんな夢をもつこともできなくなるのではないかな？

あなたたちは、私ぐらいの歳のときに、そんなことを心配したことがありますか。

こんな大変なことが、ものすごいいきおいで起こっているのに、私たち人間ときたら、

まるでまだまだ余裕があるようなのきな顔をしています。

まだ子どもの私には、この危機を救うのに、何をしたらいいのかははっきりわかりません。

でも、あなたたち大人にも知ってほしいんです。あなたたちもよい解決法なんて、もっていないっていうことを。

オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。

死んだ川にどうやってサケを呼びもどすのか、あなたは知らないでしょう。

絶滅した動物をどうやって生きかえらせるのか、あなたは知らないでしょう。

そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。

どうやって直すのかわからないものをこわしつづけるのは、もうやめてください。

ここでは、あなたたちは政府とか企業とか団体とかの代表でしょう。

あるいは、報道関係者か政治家かもしれない。

でもほんとうは、あなたたちも、だれかの母親であり、父親であり、姉妹であり、兄弟であり、おばであり、

おじなんです。そして、あなたたちのだれもが、だれかの子どもなんです。

私はまだ子どもですが、ここにいる私たちみんなが同じ大きな家族の一員であることを知っています。
そうです。50億人以上の人間からなる大家族。
いいえ、じつは3千万種類の生物からなる大家族です。
国境や各国の政府がどんなに私たちを分けへだてようとしても、このことは変えようがありません。
私は子どもですが、みんながこの大家族の一員であり、ひとつの目標に向けて心をひとつにして
行動しなければならないことを知っています。

私は怒っています。
でも、自分を見失ってはいません。
私はこわい。
でも、自分の気持ちを世界中に伝えることを、私はおそれません。

私の国でのむだづかいはたいへんなものです。
買っては捨て、また買っては捨てています。
それでも物を浪費しつづける北の国々は、南の国々と富をわかちあおうとはしません。
物がありあまっているのに、私たちは自分の富を、そのほんの少しでも手ばなすのがこわいんです。
カナダの私たちは、十分な食べものと水と住まいを持つめぐまれた生活をしています。
時計、自転車、コンピュータ、テレビ、私たちの持っているものを数えあげたら何日もかかることでしょう。

2日前ここブラジルで、家のないストリートチルドレンと出会い、私たちはショックを受けました。
ひとりの子どもが私たちにこう言いました。
「ぼくが金持ちだったらなあ。もしそうなら、家のない子すべてに、食べものと、着るものと、薬と、住む場所と、
やさしさと愛情をあげるのに。」
家もなにもないひとりの子どもが、わかちあうことを考えているというのに、
すべてを持っている私たちがこんなに欲が深いのは、いったいどうしてなのでしょう。
これらのめぐまれない子どもたちが、私と同じぐらいの歳だということが、私の頭をはなれません。
どこに生れついたかによって、こんなにも人生がちがってしまう。
私がリオの貧民街に住む子どものひとりだったかもしれないんです。
ソマリアの飢えた子どもだったかも、中東の戦争で犠牲になるか、
インドで物乞いしていたかもしれないんです。

もし、戦争のために使われているお金をぜんぶ、貧しさと環境問題を解決するために使えば、
この地球はすばらしい星になるでしょう。
私はまだ子どもだけど、そのことを知っています。
学校で、いや、幼稚園でさえ、あなたたち大人は私たち子どもに、世の中でどうふるまうかを教えてくれます。
たとえば、
争いをしないこと
話し合いで解決すること
他人を尊重すること
ちらかしたら自分でかたづけること
ほかの生き物をむやみに傷つけないこと
わかちあうこと
そして欲ばらないこと

ならばなぜ、あなたたちは、私たちにするなということをしているんですか。

なぜあなたたちが今、こうした会議に出席しているのか、どうか忘れないでください。
そしていったいだれのためにやっているのか。
それはあなたたちの子ども、つまり私たちのためです。
みなさんはこうした会議で、私たちがどんな世界に育ち、生きていくのかを決めているんです。

親たちはよく「だいじょうぶ。すべてうまくいくよ」とって子どもたちをなぐさめるものです。
あるいは、「できるだけことはしてるから」とか、「この世の終わりじゃあるまいし」とか。
しかし大人たちは、もうこんななぐさめの言葉さえつかうことができなくなっているようです。

おききしますが、
私たち子どもの未来を真剣に考えたことがありますか。
父はいつも私に不言実行、つまり、
なにを言うかではなく、なにをするかでその人の値打ちが決まる、といいます。
しかし、あなたたち大人がやっていることのせいで、私たちは泣いています。
あなたたちはいつも私たちを愛しているといいます。
しかし、いわせてください。

もしそのことばがほんとうなら、どうか、ほんとうだということを行動でしめしてください。

最後まで私の話をきいてくださってありがとうございました。

 『あなたが世界を変える日～12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ』
セヴァン・カリス＝スズキ／著 ナマケモノ倶楽部／編・訳 学陽書房発行



地球サミット

この伝説のスピーチは、1992年6月11日、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開催された国連の地球サミット（環境と開発に関する国際連合会議）の会場で、世界の指導者たちを前に行われました。

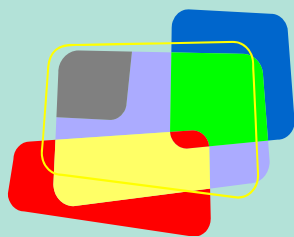
リオの地球サミットは、1992年6月3日～14日開催され、約180の国と地域の代表、国連機関、約8,000のNGO（非政府組織）が参加、延べ4万人を超える人々が集まった史上最大規模で、その後の様々な活動に大きな影響を与える会議となりました。

この会議では、持続可能な開発に向けた地球規模の新たなパートナーシップを構築するための「環境と開発に関するリオデジャネイロ宣言（リオ宣言）」とその行動計画「アジェンダ21」が合意されました。また、「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」が提起されました。会議開催後、「生物多様性」といった用語が一般にも知られるようになり、さまざまな地球環境問題や生態系、絶滅危惧種等に対する一般の関心が高まるきっかけになりました。

国際連合による環境や開発を議題とする会議は約10年ごとに開催されており、2002年に南アフリカ共和国のヨハネスブルグで開催された「持続可能な開発に関する世界首脳会議（環境開発サミット）」は第2回地球サミットとも呼ばれています。

なお、この第2回地球サミットをきっかけに日本の提案により、2005年からの10年間を「持続可能な開発のための教育の10年」とすることが決定されました。これは、「環境教育」「開発教育」「人権・平和教育」を3つの柱とし、「共生と公正を基本とした循環型の社会づくり」を目的としています。

参 考 資 料



目で見えるスーダン



1970年に制定されました。赤白黒の「アラブ統一」の3色に、イスラム教の色である緑を加えています。赤は革命による犠牲者の色、白は平和、黒はアフリカ諸国との連帯を表しますが、緑の三角形は他に例がありません。

●人口●



38,560千人(2007年)



127,967千人(2007年)



●面積●

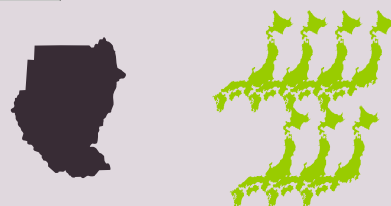


2,500,000km²

(日本の約7倍、アフリカ大陸最大)



377,887km²

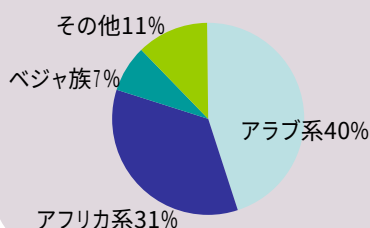


●言語●



アラビア語(公用語)
英語(公用語)

●民族●



●宗教●

イスラム教(主に北部)
キリスト教(主に南部)
土着宗教

●気候帯●



北部:砂漠気候、ステップ気候
南部:熱帯サバナ気候

●通貨●

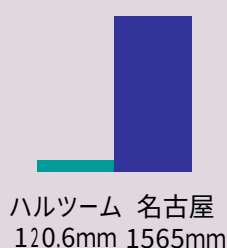


スーダン・ポンド (SDG)
1ドル=約2.2スーダン・ポンド
変動相場制(2009年4月)

●平均気温●



●年間降水量●



●日本との時差●

-6時間



◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修(Gakken) ◆面積・言語・首都・通貨:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 ◆人口:世界子供白書2009(ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計」 ◆気候帯・民族・平均気温・年間降水量:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 ◆名古屋の平均気温・年間降水量:気象庁観測部観測課観測統計室「日本気候表」(S46~H12年の平均) ◆日本との時差:世界の国一覧表(財団法人世界の動き社)

●主要産業●

原油、農業、林業、畜産業、漁業



日本との
●貿易主要品目●



原油・石油製品、アラビア・ゴム、
胡麻、綿花



輸送機械、機械・設備、
工業製品、化学製品

●一人あたりのGNI●

 1,130米ドル (2008年)



 37,670米ドル (2007年世銀)



●在留邦人数●

138人 (2009年3月現在)

●在日スーダン人数●

185人 (2007年12月現在)



●出生時の平均余命●

 58年

 83年



●都市人口の比率●



 42% (2006年)

 66% (2007年)

●5歳未満児の死亡者数●
(出生1000人あたり)

 134人 (2007年)

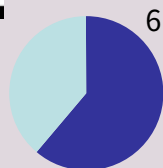


 4人 (2007年)



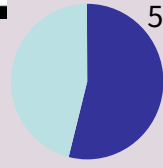
●成人の総識字率●
(2000～2007年)

 61%



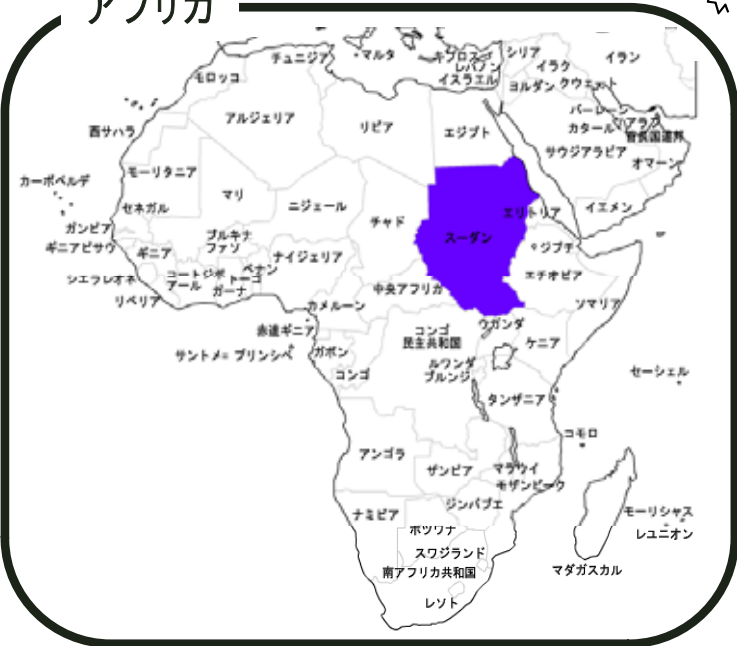
初等教育
●純就学/出席率●
(2000～2007年)

 54%



◆主要産業・日本との貿易主要品目・在留邦人数・在日スーダン人数：外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」◆一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・成人の総識字率・初等教育純就学／出席率：世界子供白書2009（ユニセフ）

スーダン地図





アフリカ





参考文献・データ等の出典

- 外務省「各国地域情勢」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- 外務省「探検しよう! みんなの地球」
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
- 総務省統計局「日本の統計」
<http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 財団法人日本ユニセフ協会「世界子供白書2009」
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- スーダン大使館
<http://www.sudanembassy.jp>
- SAVE THE CHILDREN JAPAN
<http://www.savechildren.or.jp/emergency/sudan0503/outline.html>
- Global Link Management
<http://www.glm.co.jp/GenchiDayori2.htm>
- UNHCR JAPAN http://www.unhcr.or.jp/ref_unhcr/statistics/index.html
- 世界60秒巡り <http://www.hukumusume.com/366/world/pc/all/078.htm>
- 世界の食卓から <http://www.waseda.jp/student/weekly/contents/2007a/120m.html>
- 西遊旅行 <http://www.saiyu.co.jp/special/sahara/sudan/info/index.html>
- e-food <http://e-food.jp/map/nation/sudan.html>
- 大使館の食卓 http://www.bsfuji.tv/embassy/backnum44.html#back44_01
- プラン・ジャパン <http://www.plan-japan.org/topics/091001suda/index.html>
- 難民を助ける会 <http://www.aarjapan.gr.jp/lib/diary/diary0905-3sudan.html>
- 難民支援協会 <http://www.refugee.or.jp>
- JICAスーダン事務所長のブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/sisido1124>
- 『新しい開発教育のすすめ』 難民』 開発教育研究会編著 (2000) (古今書院)
- 『教室から地球へー開発教育・国際理解教育虎の巻』
独立行政法人国際協力機構中部国際センター

ご協力いただいた方たち 【敬称略】

- 吉岡嗣晃
- 五十嵐幸雄
(JICAスーダン駐在員事務所ボランティア調整員)
- 岡田晃範 (JICA青年海外協力隊OG)



2009年度教材作成チーム

安城市 長久手町
東海市 甚目寺町
東海市国際交流協会 東郷町
みよし市

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
財団法人 愛知県国際交流協会





世界の国を知る 世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 スーダン共和国 

2010年3月

発行
編集

財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号

あいち国際プラザ

TEL: 052-961-8746 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社

